

## 女性の生涯発達とアイデンティティ

企画者：

岡本祐子（広島大学）

松下美知子（金沢大学）

司会者：

岡本祐子（広島大学）

話題提供者：

1. 青年期から中年期までの

現代女性のアイデンティティ発達

杉村和美(愛知学泉女子短期大学)

2. 個と関係性から見た女性の生涯発達

伊藤美奈子(お茶の水女子大学)

3. 比較文化的に見た成人女性の発達

松下美知子(金沢大学)

4. 伝記から見た女性の生涯発達

西平直喜(創価大学)

指定討論者

柏木恵子(白百合女子大学)

### 企画の主旨

ライフサイクル全体を展望した心の発達は、今日さまざまな領域から注目されている。1970年代以降、いくつかの成人発達理論も提出され、アイデンティティの発達を成人期まで拡大してとらえた研究も漸増の傾向にある。しかしながら、これまでの発達理論の多くは、男性を対象とした研究から導き出された発達モデルであった。女性特有の発達の特質は、しばしば指摘されながらも、明確な理論化には至っていない。それは、女性の発達のとらえにくさ、つまり個の確立、分離-個体化という切り口ではとらえきれない面が多いことやライフスタイルの多様性によるところが大きい。

我々は、現代女性の生き方の多様性とアイデンティティ確立の問題に注目して、女性のライフサイクルのそれぞれの時期の発達をめぐる問題を整理し、『女性のためのライフサイクル心理学』（福村出版、1994）として出版した。その後この3年間に、女性の発達をめぐる問題意識は社会的にも学問的にも高まり、研究も増加している。本シンポジウムでは、それらの最近の研究をふまえ、生涯発達における女性特有の問題、つまり青年期から中高年期における女性の発達の特質やアイデンティティの危機について、話題提供を求め討議したい。

話題提供者と指定討論者には、独自の視点で活発な研究を展開しておられる新進気鋭の若手研究者とベテランの先生方、両方をお願いした。杉村和美先生には、独自の面接調査にもとづいた青年期から中年期までの女性のアイデンティティ発達について、伊藤美奈子先生には、「個人志向性と社会志向性」という切り口から見た女性の生涯発達

の特質について、それぞれオリジナルな視点とデータをもとに論じていただく予定である。松下美知子先生には、数多くのアジア人留学生の事例から見えてきた成人期のライフコースと発達の相違について、比較文化的な視点から話題提供をお願いした。西平直喜先生は、青年期のアイデンティティ研究の先駆者であり、長年、手掛けてこられた伝記の分析という手法を通して女性の生涯発達の特質について論じていただく予定である。

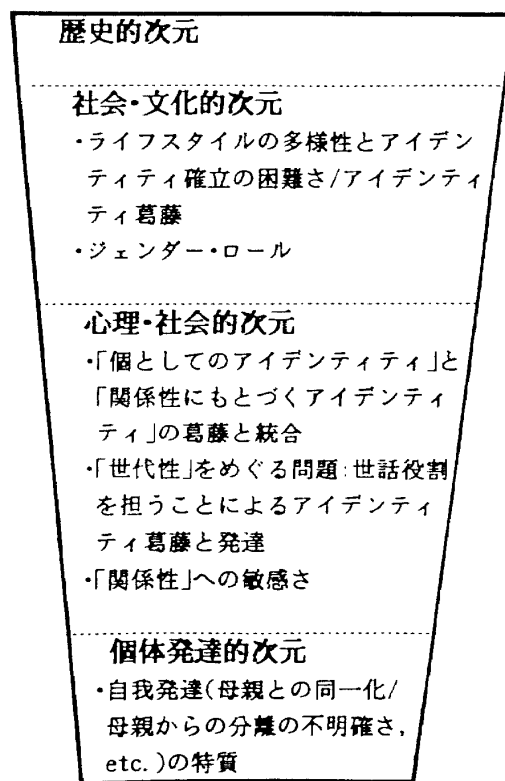


図 1. 女性のアイデンティティ発達をとらえる視点と問題領域